

EDF、公共事業に展開を

(株)鹿兒島イーデン電気 鹿兒島市のハートピアか
(川崎社長)は22日、
—ごしまで第2回光触媒研



トライアル発注を踏まえた展望を話す川崎社長
＝鹿兒島市のハートピアかごしまで

修会を開いた。代理店関係者を交えて、県トライアル発注選定後の展開を説明するとともに、鹿兒島大学の田中啓一理学博士の講義もあった。

研修会では、初めに川崎社長が、「二水会でのプレゼンを経て、当社のイーデンフラッシュ(EDF)に対する反響が大きい。トライアル発注製品の選定をきっかけとして、代理店の皆様と一緒に公共事業への展開を図っていききたい」と挨拶。さらに、銀系光触媒であるEDFの用途や特徴、ユーザーに安心を提供する細菌検査の保証制度、今後の事業展開などを発表した。

境浄化」をテーマに講義。光触媒を活用した有害物質を分解する方法の研究成果や吸着剤との複合化による機能の改良などについて解説した。

施工見学会

来月12日、産業会館

同社は来月から県トライアル発注制度に伴う施工に入る。予定施設は県庁舎をはじめ、黎明館、みやまコンセール、整肢園、川内厚生園、霧島自然ふれあいセンター、鹿屋合同庁舎。県立病院(始良・北薩・薩南・鹿屋プラザ)でも試験施工を行う。9月12日には鹿兒島市の県産業会館で施工見学会、同月29日は鹿兒島大学稲盛会館で光触媒研究会設立記念講演会を開く。

各地での施工、見学会の問い合わせは、本社
(0994・44・6
396)、事業本部(099・223・173
9)まで。



建設技術者研修会

90人が講 品確法など学ぶ

霧島市横川町の丸岡公園荘で23日、19年度建設技術者研修会(県土木部・県建設業協会